

地方独立行政法人 北海道立総合研究機構建築研究本部 北方建築総合研究所  
mail magazine【建築研究本部かわらばん】VOL. 97 2017/9/15

このメールマガジンは、建築研究本部 北方建築総合研究所が、日頃の調査研究、普及業務などで携わっているニュースを中心に、毎月お送りしているものです。

## 今月号のトピックス

第97号の内容はこちらです。

### ■研究紹介

- 集落の生活利便性の維持を前提とした生活基盤施設の集約化・多機能化手法の開発【平成27～31年度 戦略研究（地域）の小課題】

### ■トピックス

- 平成29年（地独）北海道立総合研究機構建築研究本部研究成果報告会を開催します。【10月18日（水）札幌サンプラザホール】

### ■最近の研究所の動き

- 構造計算適合性判定センターから
- 道総研「まちづくり塾」がスタートしました
- きて★みて★はっけん!!ほくそうけん☆公開デー2017を開催しました

### 研究紹介

集落の生活利便性の維持を前提とした生活基盤施設の集約化・多機能化手法の開発【平成27～31年度 戦略研究（地域）の小課題】

人口減少が進む北海道の集落では、生活利便性確保のため商店や生活サービスの維持が課題となっています。全国で同様の課題を有する集落では、地域住民組織が主体的に活動し、生活利便性を確保しようとする事例がみられます。本研究で調査した2つの事例を紹介します。

岩手県北上市口内町では、集落内の交通弱者対策をきっかけとして町内有志が「NPO法人くちない」を立ち上げ、公共交通の隙間を埋めるボランティア輸送活動、店舗運営、買い物代行、除雪等の生活支援サービスを行っています。NPO事務員は店舗従業員を兼ね、その他は地域住民のアルバイトを活用するなどにより、地域の人材活用と運営経費の低減を図っています。

島根県雲南市掛合町では、住民主体の「波多コミュニティ協議会」が、商店運営に加え、様々な地域活動を行っています。雲南市では、地域の課題を地域主体で解決する「小規模多機能自治」を進めており、当協議会も担い手の一つとなっています。協議会では、地元商店確保のため、旧小学校を活用した商店「はたマーケット」を運営しているほか、地域の要望のとりまとめと調整、公共施設管理、地域住民の無料送迎などを展開しています。協議会は自治会を母体としていますが、消防団員、PTA、女性活動グループなどが参画することで、一般的な自治会に比べ企画力、実行力のある活動を行っています。

今後、集落の生活施設・サービスとして求められる機能、住民組織や行政が担う範囲と役割分担、企画・調整・実行力を備えた住民組織のあり方、資金面も含めた効率的な運営などいくつかのポイントについて事例分析を進め、人口減少集落における生活施設の維持の具体的方法について検討してまいります。

（地域システムG 石井）

-----  
\*トピックス\*

平成29年（地独）北海道立総合研究機構建築研究本部 研究成果報告会  
-----

今年札幌市で研究成果報告会を開催します。建築研究本部が取り組んでいる建築・まちづくりの研究について、平成28年度終了課題を中心に近年の研究成果を報告します。また、第二部の全体討論会では、建築研究本部が果たすべき役割、今後取り組むべき課題について、スマートフォンを利用したリアルタイム投票・アンケートシステムを用いて参加者の皆様と意見交換を行う予定です。是非ご参加ください！

日時：平成29年10月18日（水）10:00～16:30  
場所：札幌サンプラザホール（札幌市北区北24条西5丁目）  
定員：500名  
参加費：無料  
申込締切：10月5日（木）

チラシはこちらからご覧になれます。

<http://www.hro.or.jp/list/building/research/nrb/koho/event/171018.pdf>

※本報告会はCPD制度認定講習会（予定）です。

（企画課 盛永）  
-----

-----  
最近の研究所の動き  
-----

■構造計算適合性判定センターから

□8月の判定業務

受付 7件（8棟）

結果通知 13件（14棟）

8月の判定依頼は、共同住宅が3件のほか、事務所、ホテル、倉庫、店舗が各1件でした。例年と同様、冬に向けて減少していく傾向が今年も見られています。

さて、当判定センターでは審査の円滑化を図るため、随時、事前相談を行っております。この事前相談の一環として、適合性判定のご依頼時とほぼ同様な審査内容である「図書付事前相談」も行っておりますが、こちらは建築計画はもとより構造計画が固まっていない場合や図面や計算書が完成していない状況では、お引き受けすることができません。計画に変更が生ずることのないような段階になってからお申込みいただけますよう、皆様のご協力をお願いいたします。なお、いずれの事前相談もご希望される場合には、あらかじめご一報いただけますよう、こちらもご協力をお願いいたします。

（構造判定G 千葉）

■道総研「まちづくり塾」がスタートしました

建築研究本部では市町村職員を対象に、研究成果の普及に加え、市町村と当本部がこれからの時代に向かって共に考え成長していくことを目的に、道総研「まちづくり塾」を開催しております。

8月24日～25日、第1回目のカリキュラム「Step1 まちづくり戦略の道標」を開講しました。建築研究本部長ほか研究者からの「地域運営」「防災」「環境・エネルギー」「建築技術（ストックマネジメント等）」などに関する講義や、全道各地から参加した受講生と当研究本部職員との意見交換などが熱心におこなわれました。

10月24～26日には「Step2 首長から学ぶ」及び「Step3 まちづくり戦略の

提案」の2つのカリキュラムに基づき、研究成果や実践例をもとに、各々の市町の課題を踏まえた地域の将来像やまちづくり戦略など、“50年後のふるさとづくり”について、ともに考えてまいります。

(企画課 盛永)

■きて★みて★はっけん!!ほくそうけん☆公開デー2017を開催しました

今年の公開デーは、9月9日(土)に開催されました。

毎年恒例のコーナーに加え、昨年実施して好評だった「津波の高さと速さ体験」、旭川市との共催企画「消防体験」、建築士会旭川支部との共催企画「楽しく学んで防災博士になろう」などのほか、十勝岳ジオパーク推進協議会ほかとの共催による新企画「十勝岳コーナー」、防音実験室での単語聞き取りクイズ「あんた、何言ってるんだべ?」など、14の体験・工作・展示ブースで賑わいました。

天候にも概ね恵まれ、前回は大幅に超える557名の方にご参加いただくことができました。来場者の皆様、ご協力いただいた各機関・団体の方々に厚くお礼申し上げますとともに、これからも建築研究本部の調査研究、試験評価などの取組をより広く知ってもらえるよう普及につとめてまいります。

当日の様子はこちらからご覧いただけます。

<http://www.hro.or.jp/list/building/research/nrb/koho/event/index.html>

(企画課 盛永)

=====  
管理者からのお知らせ

=====  
アドレスを登録した覚えのない方は、お手数ですが下記の各種お問い合わせ専用アドレス宛てにメールにてお知らせください。

登録内容の変更や配信停止は、下記のアドレスをクリックしていただき、ホームページ上で手続きを行ってください。クリックしても正しく表示されない場合は、アドレスをコピーしてブラウザに貼り付けてご利用ください。

メールアドレスの変更、配信停止の手続きを行ったにもかかわらず、行き違いにより配信される場合がございますので、ご了承ください。

■購読申込・変更・配信停止はこちら

[https://www.hro.or.jp/cgi-bin/mail/index.php?id=hokusoken\\_n](https://www.hro.or.jp/cgi-bin/mail/index.php?id=hokusoken_n)

変更・配信停止の場合は、ご意見、ご質問欄に「変更」または「配信停止」と記載してください。

■各種お問い合わせメールフォーム

[https://www.hro.or.jp/cgi-bin/mail/index.php?id=hokusoken\\_q](https://www.hro.or.jp/cgi-bin/mail/index.php?id=hokusoken_q)

ご登録いただいた情報は、メールマガジンの配信及びイベント情報の配信を目的として利用し、それ以外の目的に使用することはありません。

---

発行：(地独)北海道立総合研究機構 建築研究本部

<http://www.hro.or.jp/list/building/research/nrb/index.html>